

## 4 事例

### (1)湧水等を環境用水に利用した東京都の事例

東京都の湧水等を環境用水に利用した事例の中で、水の効率的な利用がなされた事例について紹介します。

#### 環境対策事例一覧

事例	場 所	水 源	用 途
1	東京都東大和市	湧水	ビオトープ
2	東京都台東区	漏洩水	池浄化

#### [事例 - 1]

### 湧水 + ビオトープ

狭山丘陵の麓に位置し、崖線から湧出する水を利用して、ビオトープ池を造り、市民に親しまれています。

下水道の整備に伴い必要がなくなった地域の浄化槽を撤去したところ、跡地から湧水が出現しました。これを受けて地域住民にトンボ池を造ろうとする運動が起きました。東大和市は、市所有のその跡地を提供し、ボランティアの方々が廃材を利用するなどしてビオトープ池が整備されました。

#### 実施内容

- 1 所在地  
東京都東大和市湖畔 2-1044-219 外
- 2 工事実施者  
ボランティア団体
- 3 内容  
ビオトープ池の規模 400 m<sup>2</sup>程度

#### 4 写真（ビオトープ池）



[事例 - 2]

## 漏洩水 + 浄化

J R 東北新幹線上野駅周辺のトンネル内に漏出した地下水を、上野恩賜公園不忍池に導水し、池の浄化に利用した事例です。

トンネル内で発生した漏洩水については、従来、J R 東日本は、下水道へ放流しておりました。また、一方で、上野駅に近い不忍池は、流入河川がないため水質の悪化が進み、その浄化対策に苦慮していました。

このような、背景の中で、水質的に良好で水量も多かったトンネル内の漏洩水を不忍池の浄化用に活用する案が浮上し、関係者間で調整の結果、下記の事業化が図られ、完成をみたものです。

### 事業実施内容

1 所在地

東京都台東区 上野駅周辺

2 工事期間

平成14年～15年

3 工事実施者

J R 東日本

4 費用負担者

J R 東日本

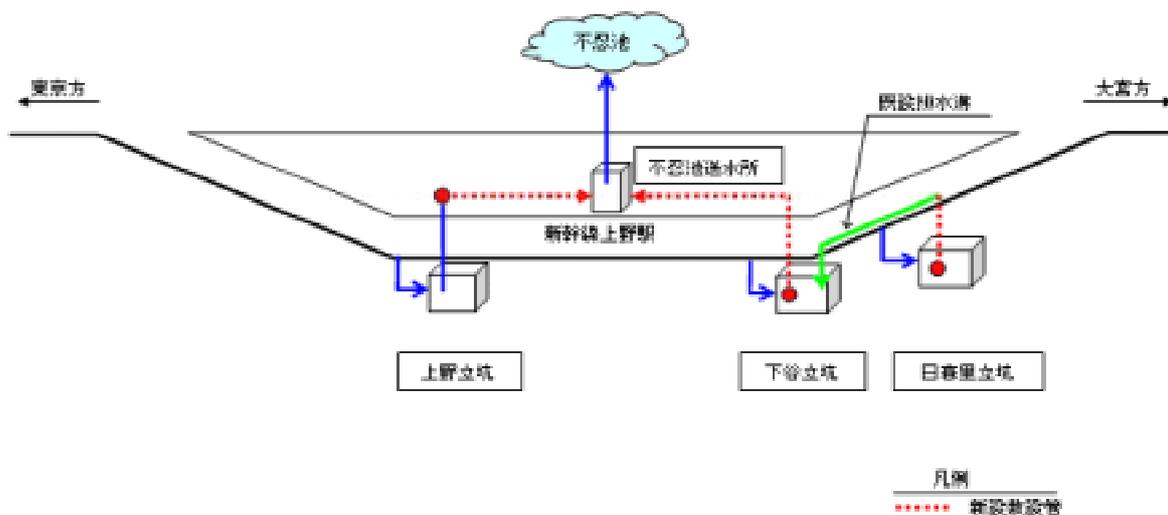
5 事業内容

東北新幹線トンネル内に漏出する地下水の排除のために既に設置されている上野立坑、下谷立坑、日暮里立坑から不忍池送水所までの送水管を敷設し、同所から既設の送水管を利用してトンネル地下水を不忍池まで送水する。

送水管敷設工事：総延長 約 2 k m

## 6 模式図

### 上野トンネル湧水による不忍池浄化対策



#### (備考)

不忍池は、東京都立上野恩賜公園及び恩賜上野動物園に位置する、ポート池、蓮池、鶉の池の3つの池から構成され、周囲は約2 kmあります。

それぞれの池の概要は次のとおりです。

	池面積 ( m <sup>2</sup> )	平均水深( m )	池水量 ( m <sup>3</sup> )
ポート池	30,000	0.86	26,000
蓮池	55,000	0.84	46,000
鶉の池	25,000	0.92	23,000

#### 7 導入水質、水量

地下水の水質は非常に良好です ( BOD0.1mg/L,SS1mg/L 未満 )。

水量は1日約270 m<sup>3</sup>あります。

#### 8 不忍池への放流箇所の選定

最上流部のポート池から放流するようにし、長期的な水質改善効果が期待されています。

( 参考出典 : 東京都 H P )

9 写真（不忍池への放流部）

